

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

<学校教育目標>

これからの社会をたくましく生きる力を持つ生徒の育成

敦賀市「知・徳・体」充実プラン

勉強して考える力
内面を豊かにする力
たくましく生きる力
人と協働する力

めざす生徒像

大きくなろう (広く豊かな心と知性のある生徒) 強くなろう (強靱な身体と精神を持つ生徒) 幸福になろう (夢や希望を持ち、その実現に向かう生徒)

重点目標

未来に向けて協働し 共生する社会力の育成

- ◎互いを尊重し高め合う集団づくり
- 自己有用感を実感できる場の設定
- 10年後を見通したキャリア教育の推進

未来につながる 総合的な学力の充実

- ◎主体的・対話的で深い学びを具現する授業実践
- 学習習慣・読書習慣の確立
- 知識・理解・技能の確実な定着

未来を生き抜く 心身の安全と健康の増進

- ◎いのちを守り尊ぶ生き方への共感
- 運動と生活改善による健康の増進
- 青年前期の健全な発達に相応しい生活習慣と意識の獲得

地域社会と共に進める 未来に開かれた学校づくり

- ◎地区4小中学校による連携の推進
- 地域と共に進める伝統文化行事への参加と継承
- 地域の人材、教育資源の活用

具体的な取組

☆生徒会活動を核とした日々の自治活動を基盤に意図的、計画的に生徒の活躍場面や集団の葛藤場面を設定し学級集団への所属感と生徒個々の自己有用感を高める。

☆定期アンケート、計画的かつ随時の面談、スクールカウンセラーの活用、生徒と接する場と時間の確保により生徒理解を深め、いじめ、不登校など学校生活上の問題を早期に把握し解消に導く。

☆ソーシャルスキルトレーニングの計画的な実践により、生徒個々の社会力向上を図る。

☆職場体験や地域人材の活用等、生き方を学ぶ多様なキャリア教育を展開し望ましい職業観、勤労観を育てる。

☆学びを振り返り確かめる時間を確保し、50分で完結する授業展開の定着と深化、充実を研究実践する。

☆授業では多様な関わりを仕掛け、思考を深め表現する展開の工夫により考える力、伝える力を伸ばす。

☆ねらいを明確にしたコンテスト、朝学習、補充学習により個に応じた知識・理解・技能の定着をめざす。

☆小中一貫教育に基づく校区小中4校での共通実践と敦賀市小中一貫カリキュラムの効果的な実践を通し円滑な小中接続と学力の充実を図る。

☆家庭と学校との連携協力により家庭学習の定着と充実をめざす。

☆授業での学校図書館活用と読書啓発により読書で学び読書を楽しむ意識の醸成と習慣化を図る。

☆道徳授業、保健指導を中心に学校の教育活動全体を通して自他の生命を尊重し生きる喜びを認め合う集団づくり、人格形成をめざす。

☆校区内の幼小中が連携した避難訓練や訓練内容の充実、時季に応じた交通安全指導また感染症予防の知識、技能習得等により、個々のリスク回避能力向上をめざす。

☆SNS利用でのネットモラル、ルールに関する知識、理解を広げ、タイムマネジメントと健康管理に関わる自己管理能力の向上を図る。

☆体育部活動の適切な推進、体育授業、体育的行事の計画的、効果的な実践と食育指導により全般的な体格、体力の充実を図る。

☆地域の伝統文化行事である敦賀祭り山車巡行への参画(山車保存協会の協力を得、行事参加から運営、継承への参画へ)により、ふるさとを愛し守り育てる心情を育てる。

☆PTA、小学校と連携し美化活動や生徒会による地域内老人介護施設の催事運営参加等、地域と連携、協働した社会貢献活動を推進する。

☆学校ホームページの計画的更新、学校だよりの公共施設配付、掲示依頼等により、地域全体に本校の教育活動を広報する。

☆地区4小中学校による合同研究組織を持ち、小小、小中連携による弱点克服と中1ギャップ解消をめざす。

成果指標

- ◎いじめ解消率100%
- ◎不登校発生率県平均以下(ゼロ目標)

- ◎SASA2018結果(5教科)の県平均レベル達成
- ◎各コンテストで全員が目標点到達

- ◎体力テストでの県平均値達成30項目以上
- ◎う歯治療率の10%向上

- ◎学校通信発行年間10回以上
- ◎全校生徒が1回以上、地域のボランティア活動に参加。

◎業務改善のための取り組み→校内LANの活用による情報伝達の効率化 議題の精選と持ち方の工夫による会議の削減と短縮 退校時刻の設定